

東さんち 3757
 鶏飼ひ子



最期は自宅で家族にみとられ

在宅医療・介護
 ネット講演会

長尾さん招き豊川市

はか
 迎えるか
 本人の意
 思
 患者
 とう

豊川市は31日、同 在宅医療・介護ネット にも出演する長尾ク 市諏訪3のプリオII トワーク講演会を リニック(兵庫県尼 崎市)の院長・長尾 和宏さん(56)が、 市内の医療・福祉関 係者ら約150人に

在宅医療や自宅での 最期について講演 した。

約300人の患者 を持つ長尾さんは、 人生の最期を自宅で 迎える。在宅死が日 本では1割にとどま

ぬ方が苦痛が少な く、長生きもすると 強調。41歳で病死し た流通ジャーナリス ト金子哲雄さんが、 亡くなる直前まで食 事を楽しんだこと などを例に挙げた。

棺体験も紹介。「最 期をどう迎えるかは 本人の意思。家族に 邪魔されないよう、 た。(由本裕貴)

ることを挙げて「無 理に延命させるより も、自宅で枯れて死

た。 自らの死を考える きっかけとなる「入

の種類の説明し、患 者によっては、国内 で使用頻度が少ない 医療用麻薬も勧め

た。

豊橋市前田中町2の14
 佐々木 繻織(株)
 TEL 534141



自宅での死を迎える大切さを講演 する長尾さん。豊川市のプリオIIで